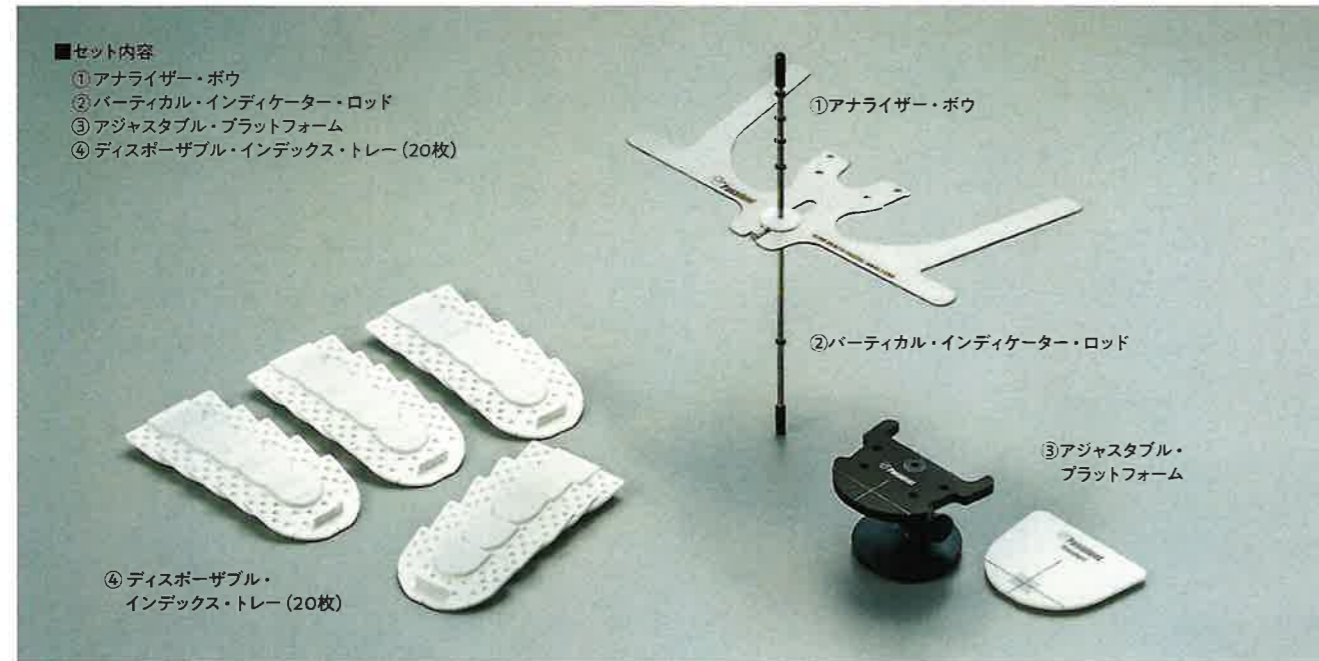


コイス デントフェイシャル アナライザー システム Kois Dent-Facial Analyzer System

審美と機能のための簡易型フェイスボウです。



- セット内容
- ① アナライザー・ボウ
 - ② パーティカル・インディケーター・ロッド
 - ③ アジャスタブル・プラットフォーム
 - ④ ディスポーザブル・インデックス・トレー (20枚)

①アナライザー・ボウ

②パーティカル・インディケーター・ロッド

③アジャスタブル・プラットフォーム

④ ディスポーザブル・インデックス・トレー (20枚)

販売名: コイスデントフェイシャルアナライザー
 一般的名称: 歯科用顔弓 一般医療機器 (クラスI)
 医療機器届出番号: 13B2X10261000054

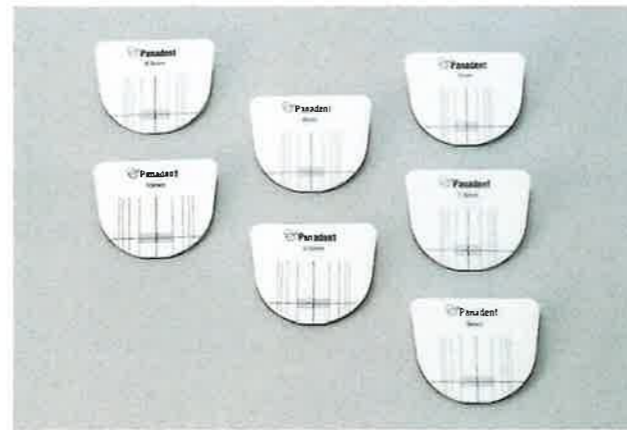
■別売品
 ディスポーザブル・インデックス・トレー (20入り)

コイス アジャスタブル プラットフォーム
 Kois Adjustable Platform



ディスポーザブルインデックストレーで、採得された咬合平面の軌跡をパナデント咬合器に移行させたり、装着後の上顎模型の位置関係等を測定する際に使用します。

ゴールデンプロポーション ワクシングガイド
 Golden Proportion Waxing Guides



中切歯冠幅に相当する7~10mm間を0.5mm刻みで個別評価するために使用する分布表セットです。

株式会社 東京歯材社

お問い合わせ先: 株式会社東京歯材社 商品センター
 〒110-0004 東京都台東区下谷 3-13-5 TYセンタービル4階
 TEL: 03-3874-5077 FAX: 03-3874-5091
 EMAIL: info-web@shizaisha.co.jp

www.shizaisha.co.jp

* 本カタログに掲載している内容は、予告なく変更される場合があります。
 * 本カタログ中の製品の色彩は印刷により実物とは異なる場合があります。



アナログ咬合器 パナデント モデル PCH/PSH

PANADENT



株式会社 東京歯材社

パナデント独自のモーションアナログが曲線顆路をより生体に近い動きに再現します

PCH カーブドインサイザルピン モデル



販売名: パナデント咬合器
 一般的名称: 歯科用咬合器 一般医療機器 (クラスI)
 医療機器届出番号: 13B2X10261000051

PSH ストレートインサイザルピン モデル



販売名: パナデント咬合器
 一般的名称: 歯科用咬合器 一般医療機器 (クラスI)
 医療機器届出番号: 13B2X10261000051

パナマウント フェイスボウ



- コンプリートセット
 フェイスボウ ……1個
 ナジオンリレーター ……1個
 ヘックスレンチ ……1個
- バイトフォーク アッセンブリー ……2個
 マウンティング フィクスチャー ……1個

販売名: パナマウントフェイスボウ
 一般的名称: 歯科用顔弓 一般医療機器 (クラスI)
 医療機器届出番号: 13B2X10261000053

マグナスプリットII システム



■セット内容
 マグナスプリットマウンティングプレート ……2枚
 インデックスプレート ……20枚

マグネットを利用したスプリットキャストシステムで、模型の取り付け・取り外しを簡単に行うことができます。硬質プラスチック製の専用プレートに模型を取り付けるため、脱着による誤差を最低限に抑えます。

モーションアナログ

Motion Analogs



モーションアナログはDr.リーのタービンシステムから得た多くの生体情報に基づいて、コンピューターが削り出した三次元曲線の内面を持っていますので、それ自体が既に調節されたフォッサと言えます。

アーティキュレーター サポートレッグス

Articulator Support Legs

2ヶ1組
 咬合器の下弓に装着することにより、咬合器を後ろへ傾けることができ、模型を正面に見ながら作業することができます。



アナログセレクトター



簡単にイミディエートサイドソフト量を計測 (チェックバイト法による) し、モーションアナログの選択と調節ができます。

バイトフォーク



無歯顎用、有歯顎用

パナバイトトレー



1セット20枚

プラスチック マウンティングプレート



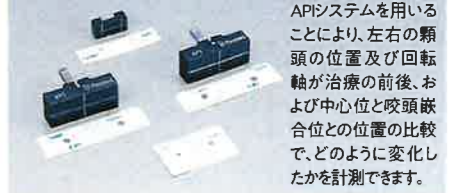
10枚・20枚入り

マウンティング フィクスチャー



バイトフォークアッセンブリーを立てるスタンドとして使用します。

APIシステム



APIシステムを用いることにより、左右の顆頭の位置及び回転軸が治療の前後、および中心位と咬頭嵌合位との位置の比較で、どのように変化したかを計測できます。

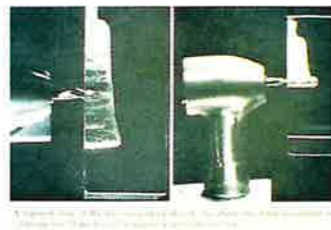
モーションアナログの完成まで



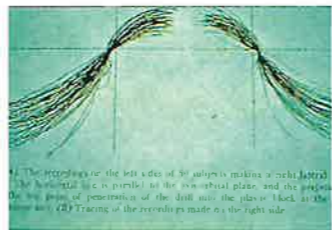
① Dr.リーの開発によるタービンシステムの顆頭運動描刻装置



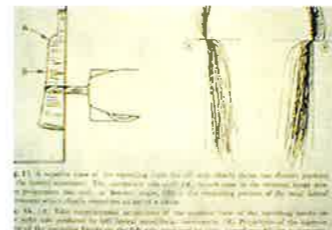
② レジンブロックに顎運動をタービンバーにより描刻



③ 側方運動時の平衡側の記録



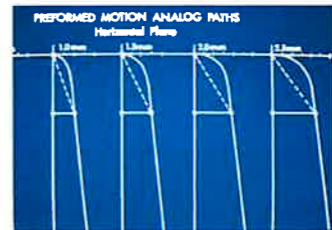
④ 50人の患者の側方運動の矢状面記録



⑤ 同じ50人の患者の水平面記録



⑥ モーションアナログの顆路



⑦ 直線顆路咬合器との顆路の比較



⑧ 完成されたモーションアナログ

多くの症例から得られた貴重な情報がくみ込まれています。

パナデントのモーションアナログは、Dr.リーの開発したタービンシステムを用いて得られた下顎運動の分析データに基づいて製作されたもので、その顆路は生体に近い曲線顆路を持ち、咬合干渉をさける数値がもり込まれています。